



# 危機管理マニュアル(地震関連抜粋)

地震対応

共通事項等



## 【注意事項（地震発生時）】

### 1. 地震の発生に備えて

- ・ 什器を固定するなど、転倒しないように措置を施す。
- ・ 消火器、消火栓、火災報知器の設置場所を確認しておく。
- ・ 廊下や出入口、階段などには避難の妨げになるようなものを置かない。
- ・ 日頃から、使用しないときはガスの元栓を閉めておく。

### 2. 地震が発生したら

#### ①地震発生から2分（まずは自分の身を守る）

- ・ 机やテーブルの下に隠れる。または、壁や柱の近くに身を寄せる。
- ・ 落下物、転倒物から、特に頭部を守る。
- ・ ドアを開けて非常脱出口を確保する。
- ・ あわてて外に飛び出さない。
- ・ エレベーターの中にいる場合、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りる。閉じ込められたら、非常ボタンを押して救助を待つ。
- ・ 自動車を運転中は、ゆっくりと道路の左側に寄せてエンジンを切る。

#### ②揺れがおさまったら

- ・ 使用中の火を消す。ガスの元栓を閉める。
- ・ 電気器具のプラグをコンセントから抜く。

- ・倒れやすくなっているもの、落下しやすくなっているものは応急措置する。
- ・自動車を運転中は、ラジオで状況を把握する。

### 3. 避難するときの注意

- ・エレベーターは使用しない。
- ・地震によって建物がゆがみ、ドアが開かなくなることもあるので、揺れがおさまる合間をみてドアを開けて避難口を確保し、開放して避難する。
- ・避難は、階段を使用し、落ち着いてゆっくり行動する。
- ・ガラスや看板など落下物に注意し、頭部を守る。
- ・傾いた建物、ブロック塀、自動販売機など倒壊の恐れのあるものには近寄らない。
- ・いったん避難したら、安全が確認されるまでは中には戻らない。
- ・これまでの震災の教訓をいかし、本震の後に余震が発生する可能性があるので、2次被害を避けるため、すぐには元の場所には戻らない。

### 4. 情報収集

- ・情報は職員、テレビ、ラジオ、消防署、行政等信頼できるところから収集する。
- ・デマやうわさなど、不確実な情報に惑わされないように注意する。
- ・大規模地震の際には、教職員及び学生の安否確認を行う。

災害等発生時の照会先・連絡先一覧

1. 災害状況の照会先

機 関 名	電 話 番 号
和歌山市総合防災課	073-435-1199
消防署	119
和歌山地方気象台	073-432-0632

2. 医療機関等の連絡先

機 関 名	電 話 番 号
和歌山ろうさい病院	073-451-3181
和歌山県立医大病院	073-447-2300
和歌山医療センター（日赤）	073-422-4171

3. 警察署、ライフライン関係の連絡先

機 関 名	電 話 番 号
和歌山北警察署	073-453-0110
関西電気保安協会	073-445-3906
和歌山市水道局	073-432-0001

4. 交通機関の被害状況の照会先

機 関 名	電 話 番 号
和歌山バス	073-445-7271
南海和歌山市駅	073-422-0101
J R和歌山駅	073-425-6091
全日空（ANA）	0120-029-075
日本航空（JAL）	0120-25-5971
道路交通情報センター	050-3369-6630

5. 大学の連絡先

機 関 名	電 話 番 号
代表電話	073-457-7007
警備員室（休日・夜間）	073-457-7053
学生支援課（学生支援係）	073-457-7111

災害用伝言ダイヤル・携帯電話の災害用伝言板について

友人・家族間で活用方法話し合っておきましょう！

災害用伝言ダイヤルの使い方	携帯の災害用伝言板について	
<p><b>○操作方法</b></p> <p>① 「1」「7」「1」をダイヤル</p> <p>② [音声ガイド] 「1」→録音、「2」→再生</p> <p>③ [音声ガイド] 被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。 ※携帯電話からかけて録音・再生することはできませんが、「携帯電話番号」を伝言の登録に用いることはできません。</p> <p>④ [音声ガイド] 「1」「#」</p> <p>⑤ [音声ガイド] 「9」「#」→録音・再生</p>	<p><b>○サービスの開始</b> 震度6弱以上の地震等の災害が発生すると携帯各社の「災害用伝言板」の運用が始まります。</p> <p><b>○メッセージの登録</b> 「無事です」「被害があります」「自宅に居ます」「避難所に居ます」「コメント見て」「移動中です」「会社にいます」「学校にいます」から選択。 ※キャリアによって異なる。</p> <p><b>○メッセージの保存期間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大72時間（NTTドコモ、au）</li> <li>・1災害における災害用伝言板終了時（ソフトバンク、ウィルコム）</li> </ul> <p><b>○メッセージの確認（同社携帯）</b> 「災害用伝言板」から安否情報を確認したい人の携帯番号を入力し、メッセージを確認する。</p>	<p><b>○メッセージの確認（他社携帯、PC等）</b> 安否情報を確認したい人の携帯会社の「災害用伝言板」のURLを入力し、同社携帯同様に操作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTTドコモ <a href="http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi">http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi</a></li> <li>・au <a href="http://dengon.ezweb.ne.jp/">http://dengon.ezweb.ne.jp/</a></li> <li>・ソフトバンク <a href="http://dengon.softbank.ne.jp/">http://dengon.softbank.ne.jp/</a></li> </ul> <p><b>○体験サービスについて</b> 各社とも「災害用伝言板体験サービス」を下記期間に提供しています。操作方法などを確認しておくとういでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日及び15日</li> <li>・正月三ヶ日</li> <li>・防災週間（8/30～9/5）</li> <li>・防災とボランティア週間（1/15～21）</li> </ul>

